

- 3 争战団の統制に關する教育
- 4 戦術戦術に關する教育
- 5 ダラ幹兵の争战のやり方の暴露

○調査は

- 1 生産高の調査
- 2 向屋先きの調査
- 3 金融関係の調査
- 4 同一資本工場調査
- 5 家族関係の調査

以上の如く五つの項目にわたつて準備斗争を進めたのである此のストライキの勝利の根本條件は四十日たつた準備斗争にありたのでありてストライキ決行後の四日間はせしむる準備斗争の成果の現れである。ストライキの勝敗如何はストライキ決行前に準備斗争の完備にキつて——すでに決定してわたるのである。

三 調査に基いて基本戦略と一般戦術の決定

調査の結果

イ 会社は赤字でない事

ロ オランダ行きの輸出品が来ておいて特定の期日までに収布が仕上がりなければ最
 4月の概算を向屋がかりをすることを、そして此の向屋は会社で一番大切な向屋であつてこの向屋を失はば会社は経営困難におちいること。

ハ、セロハン及び鳴海工場にはおきり不平が高まつて居る事
 が判明したので特に(ロ)の点を重視して「生産の完全停止」を防止するために工場占領を敢行すること、
 小見逃しのものに二つを基本戦略に決定すること、同一資本工場への働きかけを、生産の完全停止とスナップ(ストライキ破りの)を防止するために工場占領を敢行すること、
 家族族への攻撃は、その他の一般戦術の獲得にかゝつた一般戦術を確立して社宅の強制退去をキツカケに遂に一月十日後敵の火ゲタを切り斗争四日間にして大勝利解決してゐた。

我々の見逃し通り会社は同屋側の猛烈なる批難にわづかに四日間でもヘコタレたのであつた。
 敵の最大の弱点をつくと、ための基本戦略を立てることは準備活動と、おにストライキ勝利の最大の條件であること、小事をしまかゝと痛感した。

四 敵の逆襲に備へるための対策

真如に争仲者の利益を守る真面目な争仲組合の組織が工場内に出来る事は割額価値を盡んで生活して居る資本家にこの争仲の解決條項が自身の破滅的打撃であり、ボあるまいか、
 にかく最大の恐敵である。そこで彼等は組織を破壊するにいろいろ、な手段を構はる。その手段は大體「買収」「威嚇」「解雇」「ロックアウト」工場にや出し、ほごが一般に行れる常套手段で